

南海トラフ広域地震防災研究 プロジェクトシンポジウム

～南海トラフ地震被害軽減のための研究戦略と課題～

参加定員

250名
(入場無料)

本事業は、将来発生が危惧される南海トラフ巨大地震へ備える研究を理学・工学・社会科学の連携で実施し、防災・減災対策へ繋げることを目指します。

本シンポジウムでは、国土交通省関東地方整備局 越智繁雄局長より基調講演をいただくとともに、南海トラフ地震被害軽減に向けて、プロジェクトに参加する研究者間で横断的に議論・検討した結果をご紹介します。

開催日時：

2015年 **8月8日**(土)

14:00～17:30(開場13:00)

ご参加方法：

事前申込制

<http://www.jamstec.go.jp/nankai/>

事前申込が定員に満たない場合は当日参加も可能です。
ウェブサイトにてご確認ください。



場所：学士会館(210号室)
東京都千代田区神田錦町3-28

プログラム：

14:00～14:10 開会挨拶

文部科学省研究開発局地震・防災研究課 課長 森澤 敏哉

14:10～15:10 基調講演：

災害に負けない国づくり

～幅を持った社会システムの構築を～

国土交通省関東地方整備局 局長 越智 繁雄

15:10～15:30 街づくり、被害情報の扱い方

京都大学防災研究所 教授 牧 紀男

15:30～15:50 被害予測に各種知見をどう利用するか

名古屋大学減災連携研究センター 教授 野田 利弘

15:50～16:10 備えと発災後の対応のために災害リスク情報をどう発信するか

防災科学技術研究所 社会防災システム研究領域 領域長 藤原 広行

16:10～16:20 休憩

16:20～17:20 パネルディスカッション

～南海トラフ地震被害軽減のための研究戦略と課題～

進行：

名古屋大学減災連携研究センター 特任教授

海洋研究開発機構 招聘上席技術研究員 金田 義行

パネリスト：

名古屋大学減災連携研究センター センター長 福和 伸夫

東京大学地震研究所 災害科学系研究部門 教授 古村 孝志

京都大学防災研究所 教授 牧 紀男

名古屋大学減災連携研究センター 教授 野田 利弘

防災科学技術研究所 社会防災システム研究領域 領域長 藤原 広行

東北大学災害科学国際研究所 所長 今村 文彦

海洋研究開発機構

地震津波海域観測研究開発センター センター長 小平 秀一

17:20～17:30 閉会挨拶

南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト 運営委員長

東京工業大学 名誉教授 本蔵 義守